

切手偏見



消費税3%が郵便料金に追加加算されたとともに新料金で新たにシリーズ切手が発行された。「おもてなしの花シリーズ」という8種の切手である。「季節の花シリーズ」に加えての発行なのか。これで何種類のシリーズ切手が？という疑問すら持つことが馬鹿らしくなる感がある。わが国の切手の中で花を描いた切手が多いことは花鳥風月を愛でる文化のなせる業であろうか。それにしても郵便局の窓口は花が狂い咲き状態である。切手にどのくらい、何種類の花が咲いているのかを整理してみようかと、くだらない時間つぶしを始めた。

花鳥風月の意味を自然の美しい景色、また、自然の風物を題材とした詩歌や絵画などをたしなむ風流と曲解して、それに加えて切手も対象として考えてみた。まず、花鳥風月、花鳥という作品名をもつ美術作品を原画にした切手が多いことが気になっていたので整理してみた。表1のように9種類の作品が切手に用いられ、発行12件で45種類も切手になっている。目立つのは酒井抱一3作品から24種類の切手が発

表1 花鳥を作品名にもつ作品を原画とする切手

原 画	原画作者	通 称	件数	枚数
花鳥十二ヶ月図	渡辺省亭	2008年切手趣味週間	1	4
花鳥図	橋本雅邦	2010年切手趣味週間	1	2
花鳥図屏風	酒井抱一	1977年国際文通週間	1	1
四季花鳥図巻	酒井抱一	1997年国際文通週間		3
四季花鳥図巻	酒井抱一	700円普通切手		1
四季花鳥図巻	酒井抱一	郵政公社設立		10
四季花鳥図巻	酒井抱一		3	14
四季花鳥図屏風	酒井抱一	2006年国際文通	1	2
四季花鳥図屏風)	狩野元信	2013年切手趣味週間	1	10
十二ヵ月花鳥図屏風	酒井抱一	郵便民営会社発足記念	1	8
春夏花鳥図屏風	狩野永納	2012年切手趣味週間	1	1
著色花鳥版画	伊藤若冲	1998年国際文通週間	1	3
		合 計	11	45



図1 酒井抱一 四季花鳥図巻 上巻春夏と原画にする切手

行されている。なかでも、四季花鳥図巻は花鳥だけでなく、昆虫も切手になっており、絵画芸術品のなかで切手になった数で最多のものであろう。

具体的に、酒井抱一の四季花鳥図巻に切手を配置してみると、春夏の鮮やかな花々が発行目的に相応しいのか多く切手になり、秋冬のものは相応しくないのか、



図2 酒井抱一 四季花鳥図巻 下巻 秋冬とその部分を原画にする切手

切手に描かれているのが少ない。また、切手趣味週間、国際文通週間の切手では花より鳥を主にデザインされたものが多いようである。

この花鳥風月図巻にも描かれている夜、雪の情景から頭に浮かんだことがある。夜、夜に関係するものを描いた切手と雪の情景を描いた切手が外国に比べ非常に多いのでは、と

いうことである。これも花鳥風月の一側面かと調べてみた。

夜の情景が約130種類の切手に描かれている。その内容は大きく3つに分類できるようである。なんらかの建造物のライトアップと光を放つ夜景を描いたもの約60種類、花火を描いたもの約40種類、夜の祭を描いたもの約30種類である。この中から、風流を感じるものを探すと共通事項が浮かび上がってきた。それは月が関係していることである。これが約30種類あった。

月に関わる宇宙関



21世紀に伝えたい東京の風物

飛騨古川祭り起こし太鼓

土浦の花火

図3 夜を描く切手の3分類 夜祭 夜景・ライトアップ、花火

係以外の切手を見ると全体に風流を感じさせるものが多いかと感じる。それは、歌、俳句、物語を発行目的にしたもの、月が描かれた絵画を切手にしたもの、浮世絵等、別の側面から風流の要因を織り込んだものを切手に採用した例である。風流をどうとらえるかは難しい。明るい光が夜陰に映えるものには風流は感じにくいとしても、もう少し期待したのは間違いであろうか。月明かり、月光を表現した絵画作品等から切手にしたものがほとんどである中に、切手のためにデザインされ、かつ、月を表現せずどこか風流を感じさせる切手があった。それは国定公園琵琶湖の切手である。石山寺観月亭からの瀬田川、琵琶湖、比叡の山並みの眺めを夜景に描いている。主に濃紺でしずかな満月の下の夜を感じる切手である。もう1枚は月夜の静けさのなかに華やかさを感じさせる切手がデ



夜、月、そして雪を外国切手に探してみたら。クリスマス切手に夜の切手が見られる以外、思ったとおり非常に少ない。わずかのヨーロッパ切手ではあるが整理してみると、オーロラ、赤熱の溶岩流、灯台等を描いた切手に少数見つけられた。

図4 夜の静けさを愛でている題材が切手になって風流を感じさせる
唱歌を題材 俳句を題材 浮世絵を題材



図5 切手のためにデザインされ月夜の風流を感じさせる2枚の切手



図7 雪と夜に風流を求められる唯一の切手か

更に、月が描かれた切手となると、僅かしか見つけられなかった。このように外国切手にわが国のように夜、月、雪を愛でていると感じ

ザインされている。ふるさと切手 京の四季 円山公園の月の光と篝火に映える夜桜の切手である。

次に、雪を愛でる切手についてみると、雪山は除いて、かなりバラエティーに富んだ切手が見られた。その中で目立つのが同じ対象を雪景色と雪の無い風景とを切手にしている例である。日本三庭園と金閣寺である。金閣寺は同じ構図で同時に同一シートで発行されている。加えて、夜と雪を合わせて愛でているのが浮世絵切手に1枚見られる。国際文通週間切手 蒲原である。



図6 愛でる雪を感じる 名所地の切手



下の2枚には月が



図8 外国切手に見る 夜、月、雪

理して、何かを見いだせればと考えた。

まず、花を切手種類別に整理すると、表2のようになった。花はふるさと切手に特殊切手の2倍以上も咲いていた。ふるさと切手が地方郵政局ごとに発行されていた時期の花切手の狂い咲き（この時期の38%は花が描かれている）の後遺症と国土緑化切手に花が多いことがふるさと切手にこの数をもたらしたかと考える。しかし、現在もふるさと切手の30%には花が咲いており、郵政民営後も花に群がる虫の習性は変わらぬようである。

普通切手に花が多いと感じたが、これは手彫切手に彫られた桜花（34枚）と震災切手、昭和切手に富士山と一緒に描かれたサクラ（11枚）のためである。

全体では204種類の花が1010枚の切手に咲いていた。今回は分類をヤマザクラ、カワズザクラ等はサクラに統合するようにしたため、細かく分類すれば250種程度になろうか。

当然ながら、ふるさと切手には県花、名所旧跡の一部分として切手に描かれているのに対して、特殊切手では国際関連行事に絵画の花の部分が描かれていた。この点をふるさと、特殊切手の両種類で一番多く描かれていたサクラをみると、ふるさと切手では城、塔の文化財背景



手彫切手に咲く桜花
稲門フィラテリー坂下泰一氏蔵切手



富士山とサクラ



サクラだけを描いた唯2種

図9 普通切手にみられるサクラの咲き方

として18枚、庭園の一部として10枚、地域の名木、天然記念物として11枚の切手になっていた。対して、特殊切手では国際会議、外交

関係を記念する切手に、我が国をイメージしてであろう半数近い22枚の切手に描かれていた。このあたり、法では定めていないが国花として扱われているサクラを感じさせる。普通切手でのサクラは前述した切手を除くとむしろ少ないと考えられる。

また、ふるさと切手には多く咲いているが特殊切手にはあまり咲いていない花がみうけられる。ツツジ、チューリップ、ハマナス、リンゴ、ナシなどであり、身近な花と名産果実の花ですべて県花である。反対に特殊切手に偏って咲いている花がある。ボタンである。島根県の県花であるが、絵画から切手に描かれ、かざられ、中国の国花（検

表2 切手種類別、花種類別切手数 2013年末現在

合計		ふるさと切手		特殊切手		普通切手	
発行数	1010	発行数	633	発行数	273	発行数	92
発行割合	15%	発行割合	36%	発行割合	6%	発行割合	18%
花	種	花	種	花	種	花	種
サクラ	181	サクラ	80	サクラ	45	サクラ	52
ウメ	51	ツツジ	33	ウメ	18	ツバキ	7
ツツジ	36	ウメ	24	ボタン	16	ウメ	6
ツバキ	26	チューリップ	17	不明	13	キク	3
ボタン	23	スイセン	13	ユリ	9	フジ	3
ユリ	22	ナノハナ	13	ツバキ	9	アジサイ	2
バラ	20	バラ	13	キク	9	カタクリ	2
アジサイ	19	リンドウ	13	バラ	7	タンポポ	2
スイセン	19	ハマナス	11	アジサイ	7	ナノハナ	2
リンドウ	19	ユリ	11	リンドウ	6	フクジュソウ	2
不明	18	リンゴ	11	ヒマワリ	6	イブキトラノオ	1
キク	18	アジサイ	10	サクラソウ	5	カワラナデシコ	1
チューリップ	18	コスモス	10	スイセン	4	ケシ	1
ナノハナ	17	サクラソウ	10	カキツバタ	4	サギソウ	1
サクラソウ	15	ツバキ	10	ラン	4	スイセン	1
ヒマワリ	13	モモ	10	ツツジ	3	スミレ	1
フジ	11	シャクナゲ	8	アサガオ	3	タチツボスミレ	1
カキツバタ	11	ハナショウブ	8	キキョウ	3	ツククサ	1
コスモス	11	カキツバタ	7	ナノハナ	2	ハナショウブ	1
ハマナス	11	ナシ	7	フジ	2	ミズバショウ	1
リンゴ	11	ハマユウ	7	ベニバナ	2	ユリ	1
その他	440	その他	307	その他	96	その他	0

表3 切手に咲いている花と数

花	種	花	種	花	種	
あ	アーノルディ	1	サワギキョウ	1	ハクサンフウロ	1
	アイリス	1	サンカヨウ	1	ハス	4
	アカマツ	1	シクラメン	3	ハナシノブ	1
	アサガオ	7	シナノキンバイ	1	ハナショウブ	10
	アザミ	2	シバザクラ	3	ハナミズキ	2
	アジサイ	19	ジャガイモ	3	ハマゴウ	1
	エゾマシャクナゲ	1	シャクナゲ	10	ハマナス	11
	アツモリソウ	1	シャクヤク	2	ハマヒルガオ	1
	アマギシャクナゲ	1	ショウブ	2	ハマユウ	7
	アヤメ	4	ジョウロウホトトギス	1	バラ	20
	イチイガシ	1	ショカツサイ	1	ヒゴタイ	1
	イネ	1	シラカシ	1	ヒダカソウ	1
	イブキトラノオ	1	シラネアオイ	2	ヒナギク	2
	イワウメ	1	シレトコスミレ	1	ヒノキ	1
	イワカガミ	3	スイートピー	1	ヒマワリ	13
	イワブクロ	1	スイセン	19	ヒメキンソウ	1
	ウメ	51	スイレン	2	ブーゲンビリア	2
	ウルップソウ	1	スカシユリ	1	フキノトウ	4
	エゾカンゾウ	4	スギ	1	フクジュソウ	6
	エゾノリュウキンカ	1	スズラン	7	フジ	11
	エゾムラサキ	1	スダジイ	2	ブナ	1
	エビネ	1	スダチ	4	フヨウ	1
	オオマツヨイグサ	1	スダチノハナ	1	フラウン	1
	オガタマノキ	1	ストレチア	1	フリージア	1
	オクシリエビネ	1	スノードロップ	2	ペニバナ	8
	オヤマノエンドウ	1	スマレ	4	ペニバナヤマシャクヤク	1
	オリブ	5	ゼラニウム	1	ヘリオトロープ	1
か	カーネーション	3	タチアオイ	1	ホオズキ	1
	ガーベラ	3	タチツボスミレ	1	ホオノキ	2
	カキ	1	タニウツギ	1	ホタルブクロ	1
	カキツバタ	11	タネスミレ	1	ボタン	23
	カタクリ	6	タムシバ	1	ホテイラン	1
	カッコソウ	1	ダリア	2	ボルトブラッシュ	1
	カトレア	1	タルマイソウ	1	ボビー	5
	カワラナデシコ	2	タンポポ	2	ミカン	7
	カンゾウ	1	チシマギキョウ	1	ミズバショウ	9
	キキョウ	7	チャ	1	ミツバツツジ	1
	キク	18	チューリップ	18	ミヤギノハギ	5
	キスゲ	2	チョウノスケソウ	1	ミヤマオダマキ	1
	キタコブシ	1	チンゲルマ	2	ミヤマキリシマ	8
	キバナシャクナゲ	1	ツクシ	1	ミヤマシオガマ	1
	キリ	5	ツツジ	36	ミヤマユキウスユキソウ	1
	キンボウゲ	1	ツバキ	26	ムクゲ	1
	キンモクセイ	3	ツククサ	3	ムスカリ	2
	クス	6	ツワブキ	2	ムニンボタン	1
	クリ	1	デイゴ	8	ムニンヒメツバキ	2
	クリスマスローズ	2	テッポウユリ	1	モクレン	1
	クレマチス	2	トルコギキョウ	1	モモ	10
	クロユリ	6	ナギ	1	ヤクシマシャクナゲ	1
	ケイトウ	2	ナシ	7	ヤマシャクヤク	1
	ケシ	3	ナツミカン	4	ヤマブキ	1
	ゲンゲ	2	ナデシコ	4	ヤマボウシ	1
	コウシンソウ	1	ナナカマド	2	ヤマモモ	4
	コウボネ	1	ナノハナ	17	ユキワリソウ	2
	ゴールドンワトル	1	ナンブイヌナズナ	1	ユリ	22
	コオロギラン	1	ニオイエビネ	1	ライラック	4
	コスモス	11	ニッコウキスゲ	5	ラベンダー	5
	コブシ	8	ニリンソウ	1	ラン	7
	コマクサ	2	ネブ	1	リシリヒナゲシ	1
さ	サギソウ	1	ネム	1	リュウキンカ	1
	サクユリ	1	ネモトシャクナゲ	5	リンゴ	11
	サクラ	181	ノジギク	5	リンコスチリスギガンテア	1
	サクラソウ	15	ノゾリキスゲ	1	リンドウ	19
	ササユリ	1	ハイビスカス	6	レブンアツモリソウ	2
	サザンカ	5	ハギ	6	レンゲ	3
	サツキ	3	ハクサンイチゲ	2	ロウバイ	4
	サルスベリ	1	ハクサンコザクラ	1	ワスレナグサ	2
	サルビア	3	ハクサンシャジン	1	不明	18
					合計	1010

討中とか)をイメージして日中友好条約等の切手に使用されているため特殊切手に多くなっている。普通切手に整理されたツバキの6枚は印字コイル切手のツバキの数である。

次に、切手に咲いている200余種の花の種類を整理し、表3にした。このような資料は目にしたことが無い。植物の知識もない者が細かく見にくい表で紙面を無駄に埋めることをお許し願いたい。花の名から具体的に切手のイメージが浮かべられるもの少なく、再三、切手を確認することが必要な表作成であった。

次に、鳥の描かれた切手を整理すると表4のように、花の咲き方とは異なっていた。ふるさと切手より特殊切手に多くなっており、更に普通切手に占める割合が高い。特殊切手に多いのはハトが45枚発行されていることによる。しかし、ハトは他の鳥と異なり、鳥類としてではなく、平和、友好のシンボルとして描かれているのがほとんどである。また、特殊切手に偏って発行されていたのがペンギンである。日本に生息しない鳥が南極関係の記念切手、動物園切手として描かれている。日本のペンギン飼育数は世界一というが、切手でも同じく飼育数がおおくなっている。更に、特殊切手で目立つのは絵画、工芸品から鳥が花より多く描かれていることである。このような鳥が描かれた43種、20%の特殊切手は深みのある切手になっている。

どの切手種類においても多くみられたのがタンチョウヅルである。国鳥は日本鳥学会指定でキジとなっているが、切手ではタンチョウヅルといえるのではないかと考えられる。また、過去、タンチョウヅルが日本全国に生息、飛来していたことも浮世絵切手「六十余州名所図会紀伊和歌之浦」等からも判断できて興味深い。



図10 鳥切手の数 BEST3
ハト、タンチョウヅル、ペンギン

表4 切手種類別、鳥種類別切手数

合計		ふるさと切手		特殊切手		普通切手	
発行数	328	発行数	52	発行数	212	発行数	46
発行割合	5%	発行割合	3%	発行割合	5%	発行割合	9%
鳥	種	鳥	種	鳥	種	鳥	種
ハト	48	タンチョウヅル	9	ハト	45	スズメ	6
タンチョウヅル	30	ハクチョウ	4	ペンギン	18	オシドリ	5
ペンギン	19	コウノトリ	3	タンチョウヅル	17	タンチョウヅル	4
ニワトリ	15	トキ	3	オシドリ	7	ガン	3
オシドリ	13	ハト	3	ハクチョウ	6	ホトトギス	3
ハクチョウ	10	ライチョウ	3	フクロウ	6	ヤマドリ	2
スズメ	8	エトピリカ	2	ニワトリ	5	メジロ	2
ガン	7	オオワシ	2	インコ	4	ヤマセミ	2
キジ	7	コノハズク	2	ガン	4	キジバト	2
フクロウ	6	ナベヅル	2	ツバメ	4	コブハクチョウ	2
コウノトリ	6	メジロ	2	コウノトリ	3	タカ	1
トキ	6	ヤマセミ	2	シマフクロウ	3	モズ	1
ホトトギス	5	アビ	1	トキ	3	ヤマガラ	1
メジロ	5	ウ	1	カワセミ	3	イヌワシ	1
ヤマセミ	5	ウグイス	1	クジャク	3	コチドリ	1
その他	137	その他	52	その他	80	その他	10

図4 切手を飛ばす鳥たち

鳥	種	鳥	種	鳥	種
あ アカガシラカラスバト	1	カラス	3	トモエガモ	2
アカショウビン	1	カルガモ	1	な ナベヅル	3
アカヒゲ	1	カワセミ	3	ニワトリ	15
アビ	1	ガン	7	ノグチゲラ	1
アホウドリ	1	カムリワシ	2	は ハクセキレイ	1
アマサギ	1	キジ	7	ハクチョウ	10
イカル	1	キジバト	2	ハト	49
イヌワシ	2	キンケイチョウ	1	ハハジマメグロ	1
インコ	4	クジャク	3	バン	2
う	3	クマガラ	1	ヒヨドリ	1
ウグイス	3	コウノトリ	6	フクロウ	6
ウソ	1	コチドリ	2	フラミンゴ	1
ウミネコ	1	コノハズク	3	ペンギン	19
エトピリカ	3	コブハクチョウ	2	ホオジロ	1
オウム	1	コンドル	1	ホトトギス	5
オオジシギ	1	さ サンコウチョウ	1	ホントウアカヒゲ	1
オオジロワシ	1	シジュウカラ	2	ま マガン	1
オーストンオオカケラ	1	シジュウカラガン	2	マナヅル	1
オオセッカ	1	シマハヤブサ	2	ミミヅク	1
オオタカ	1	シマフクロウ	4	メグロ	2
オオミズナギドリ	1	シラサギ	3	メジロ	5
オオルリ	2	シロチドリ	1	モズ	3
オオワシ	3	ズグロカモメ	1	や ヤマガラ	3
オシドリ	13	スズメ	8	ヤマセミ	5
オナガドリ	1	セキレイ	1	ヤマドリ	3
オニオオハシ	1	た タカ	3	ヤンバルクイナ	2
か カイツブリ	2	タマシギ	1	ら ライチョウ	5
カケス	1	タンチョウヅル	30	ルリカケス	1
カササギ	1	ツグミ	1	わ ワシ	1
カツオドリ	1	ツバメ	4	ワライカワセミ	1
カモ	2	トキ	6	不明	3
		合計 328			

次に、県花とくらべる意味で都道府県の鳥、県鳥を表4で探しても何種類の鳥が見つけれない。キビタキ(福島県)、ヒバリ(茨城県)、ユリカモメ(東京都)、コマドリ(愛媛県)、ヤイロチョウ(高知県)、コシジロヤマドリ(宮崎県)などである。キャラクター切手 Donald などよりこれら県鳥を知らしめる切手の発行を期待するのは無理であろうか。

以上、花、鳥切手を整理してみて、自然を愛でるといふ花鳥風月の文化は切手の上にも強く見られると考える。特に普通切手の30%が花鳥切手であることは他の国の普通切手には見られないことと留意したい。また、1992年から発行された日本の自然・普通切手・3色斜帯に描かれた虫を含めた28種の美しい普通切手は花鳥風月に風流ともいえるものも加えて感じるの、センスの有無を問われるだろう。

動植物に知識なく、加えて美的見識、感性も養っていない者がとんでもないことを扱ってしまったという反省の気持ち強い。ぜひ、学識ある会員に確認いただき誤りを正していただきたく、紙面に量的に掲載できない切手名と花鳥名の資料を準備したので、連絡ください。

(編集子)



図11 日本の自然 花、鳥、虫